



少しずつですが…提言が形になってきた2年目です。

議員として働かせていただいて2年8ヶ月が経ちました。住民の皆さんからいただいた貴重なご意見を議会で届け続けてきましたが、なかなか実現されないもどかしさがありました。

もちろん、財政的な部分で短期的に実現が難しいご要望もありますので、国の補助金などを活用しながら粘り強く提言を続けていきたいと思っています。今回は、わずかではありますが、私の質問から実現した内容を共有させていただきます。



最上病院の会計でクレジットカードが使用できるようになりました。今後、QR決済などにも対応できるよう整備予定とのことです。

【除雪機の購入補助金】

時期や要件は未定ですが2026年度より導入されます。

【最上病院キャッシュレス化】

2026年3月より導入されました。

【スキー場キャッシュレス化】

2025年12月に導入されています。他休憩所の利便性も向上されています。

【災害備蓄品の拡充】

これまで目標値に対して足りていませんでしたが、2026年より大幅に拡充されます。

【外部有識者の誘致】

昨年より観光地活性化のために銀山温泉を活性化させた有識者がアドバイザーとして来町しています。

【不要果樹伐採補助金】

熊の被害を軽減するために導入していただきました。時期は未定ですが、1本辺り最大4万円で2026年度より募集が開始されます。

【議会議事録の公開】

2024年6月より会議録が公開されるようになりました。

12月定例会 一般質問

最上町の住民が「住みやすい」
と思えなければ、
移住者の誘致は厳しい。
不便さからの転出を防ぐ支援を。

高校生の通学に不便が生じれば、人口流出を止めることはできないという有識者の意見があります。現在最上町では陸羽東線の運休によって、新庄市までの通学や通院などに大きな負担が生じている状況です。JR側からは代行バスの増便やダイヤ改正で様々な工夫をいただいておりますが、乗車時間の増加やダイヤが合わないなどの理由から転出を考えられている世帯もいるのが実情です。デマンドバスやライドシェアの取り組みなどもありますが、行政区を跨いでの利用ができず、観光客への2次交通利用も悩ましいところです。

せめて復旧するまでの間、新庄市の学校や病院を経由するシャトルバスを設置できないか質問しましたが、費

用や法的な部分で難しいとの答弁をいただきました。

他にも除雪の部分での負担も課題となっています。利用制限を設けない雪おろしの費用補助などを行うことはできないかを問いましたが、やはり財政面での難しさがあるとのことでした。

引き続き、不便な中でも工夫をし、住みづらさを軽減できるような提案を行なってまいります。

熊出没時などの災害に対応した 児童生徒の登下校対応マニュアルを。

昨年頻発した熊の出没時に、他市町村では徒歩通学児童生徒を緊急的にスクールバスで送迎する対応を行っていました。当町も役場職員の見守りで安心して登校はできましたが、保護者の付き添いなどの負担も発生したことから、対応マニュアルの作成を求めました。スクールバス利用についても検討するとのことでした。

3月定例会 一般質問

落雪・景観・犯罪の温床…
空き家を取り巻く課題が増加。
住んでいる段階からの計画が
大切になります。

ここ数年、町内でも倒壊の恐れのある空き家をよく目にするようになりました。景観への影響だけではなく、冬場は落雪による歩行者への被害も懸念されています。放置して何か問題が起きた時に思わぬ損害賠償の請求が発生したり、行政代執行の対象となれば、結果的に多額の撤去費用を求められることになります。

状態の良い空き家であれば、町の「空き家バンク」への登録をおすすめします。解体費用の負担もなく次世代へ受け継ぐことが可能です。また、老朽化が進んでいるようであれば解体という選択肢になりますが、町では解体費用の助成金も用意しておりますので、活用されることをおすすめします（要件あり）。

町へは住まいのエンディングノートの活用と、住民



に向けた空き家勉強会の開催を提言しました。
内容としては、以下のものが挙げられます。

- ・空き家等対策特別措置法の内容
- ・除却費用
- ・空き家バンクに掲載方法
- ・早期に売却するコツ

今後、出前講座などで取り入れていきたいとこのことでしたので、ぜひご参加いただき、住まいの将来について考える機会にしていいただければと思います。

●その他の質問「第5次総合計画（前期）の達成度と後期計画の目玉は」

本会議・予算特別委員会で私がした主な質問

- ・小学校給食費無償化はいつから実施されるのか
- ・前森高原の施設をジビエの加工場にできないか
- ・狩猟人材確保につなげる PR 活動について
- ・中学校体育館の空調設備設置の検討は
- ・生成 AI がどのくらい業務や財政を軽減させるのか
- ・家庭用除雪機購入補助で中古品も利用できないか
- ・そば粉を活用した特産品の開発について
- ・道の駅の駐車場の危険性について
- ・読書週間の向上に向けた支援について
- ・俳句大会を活用した町の認知度を上げる方策を
- ・温水プールの利用促進による維持費の確保について
- ・町内情報の公式 LINE 配信について
- ・クマ捕獲に係るハンターへの心的負担について
- ・最上町産山菜のブランディングについて
- ・事業承継の推進について

その他議員・個人活動

● 議会だよりが全国・県で入賞しました

広報編集委員会の委員長になって初めて全国と県で入賞させていただきました。全国町村議会のコンクールでは奨励賞、県の町村議会では昨年に引き続き1位の成績をいただきました。町民の皆さまに寄り添いながら、これからも様々な声を反映できるような紙面を目指してまいります。



● 春のうねる市を開催します！

5月24日（日）10時～15時に赤倉温泉 une にて春のうねる市が開催されます！町内外から様々なお店が出店されますので、ぜひ遊びにいらしてください。16時からドキュメンタリー映画「食べることは生きること～アリス・ウォーターのおいしい革命～」が無料上映されます。

【編集後記】

もっと最上町が住みやすくなるよう、新年度も小さな声を届けられるように頑張っています。ぜひ日々の生活でお困りのことなどあればお気軽にご相談ください！

